

センシング技術応用セミナー 2023

地球温暖化対策におけるセンシングの役割



日時：2023年6月8日(木) 10:00～16:35

場所：大阪産業創造館 6階 会議室E

■所在地

〒541-0053 大阪市中央区本町1丁目4-5

URL：<https://www.sansokan.jp/map/>

■アクセス

大阪地下鉄「堺筋本町」下車徒歩10分

主催：センシング技術応用研究会

後援：(地独)大阪産業技術研究所

■オンラインでのご参加も可能です。講演は対面で行われますが、今後の状況変化によっては、ご講演の一部がオンラインとなる可能性もありますのでご了承ください。

参加のおすすめ

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて環境対策の必要性が叫ばれていますが、実際の現場ではどの程度CO₂を削減すればよいのか、どのように削減するのか、本当に削減になるのか、経済的に成立するのかなど見通せていないことが多くあります。本セミナーでは大きく捉えた取り組みの実態と具体的な取り組みについて、センシング技術を切口として各分野の専門家の方々にご講演いただきます。

■参加費 (テキスト代・消費税を含む)

主催・協賛団体会員：8,000円、 一般：10,000円、 学生：3,000円

協賛団体 (予定)：(一社)電気学会、(一社)電子情報通信学会、(一社)次世代センサ協議会、(一社)日本機械学会、ニューセラミックス懇話会、(公社)応用物理学会、(一社)KEC関西電子工業振興センター、(一財)大阪科学技術センター、他12学協会

※協賛団体の詳細につきましては、センシング技術応用研究会事務局にお問い合わせ下さい。

■申込方法

下記URLからお申込みください。右記QRコードからもお申込み可能です。

<https://forms.gle/bpk4Bzib4y3wdtRHA>



■定員(先着順)：60名(現地会場)・80名(オンライン) ■申し込み締め切り：5月31日(水)

■お問い合わせ先：センシング技術応用研究会

〒594-1157 大阪府和泉市あゆみ野2-7-1 大阪産業技術研究所 和泉センター内

TEL：0725-51-2534 FAX：0725-51-2597

E-mail：sstj@dantai.tri-osaka.jp URL：<http://tri-osaka.jp/dantai/sstj/>

※ 講演はOnlineでも配信します。

【開会挨拶】センシング技術応用研究会 会長 筒井 博司 氏 (10:00～10:05)

【講演】

1. 「カーボンニュートラル実現に向けた対策と政策の見通し」 (10:05～11:05)

(公財)地球環境産業技術研究機構 システム研究グループ グループリーダー 秋元 圭吾 氏
2050年カーボンニュートラル (CN)の達成に向けてエネルギー供給側、需要側双方において、様々な技術が必要になると見られます。また、CN達成に向け政策の強化も図れています。本講演では動向および展望について紹介します。

2. 「海から見る気候変動・温暖化 ～ どうやってはかるの？ そして、わたしたちへの影響は？～」 (11:10～12:00)

(国研) 海洋研究開発機構 (JAMSTEC) 研究プラットフォーム運用開発部門 技術開発部 観測技術研究開発グループ グループリーダー 石原 靖久 氏
気温の上昇ばかりが目される地球温暖化ですが、海の方も事態は深刻です。広大で気よりも大量の熱を蓄える海をどのようにかはかるのか。そして、わたしたちの生活にどのような影響を与えつつあるのか。そうしたことを紹介したいと思います。

--- 昼休み ---

(12:00～13:00)

3. 「CCUS盛り上りに伴う実体CO₂の計測と追跡の重要性」 (13:00～13:50)

三菱重工業株式会社 CCUSビジネスタスクフォース サブリーダー 堀 秀爾 氏
2050CNの実現にはエネルギー代替等排出量削減に加え、CO₂を回収し活用や地中貯留で実体のCO₂を閉じ込めるCCUSが、現在比100倍以上の市場規模で見込まれます。CCUSの様々な断面で必要になる実体CO₂の計測と追跡について解説します。

4. 「パナソニックの水素及び燃料電池事業の取り組み」 (13:55～14:45)

パナソニック株式会社 エレクトリックワークス社 電材&くらしエネルギー事業部 環境エネルギーBU 燃料電池・水素SBU 燃料電池技術部 部長 四十住 祐介 氏
弊社はCO₂排出量の削減に向けてPanasonic GREEN IMPACTを発信し、2050年に約3億トンのCO₂削減を目指しています。その中心となるのが水素です。当日はエネファーム、純水素型燃料電池やRE100ソリューションの取り組みを紹介します。

--- 休憩 ---

(14:45～15:00)

5. 「モデルベースによる自動車の熱マネジメント技術開発に向けた計測解析技術とその応用」 (15:00～15:50)

マツダ株式会社 技術研究所 スペシャリスト 森島 千菜美 氏
CO₂低減の観点から自動車の電動化が急速に進んでいます。電動車は複雑な熱システムを有しており、開発効率化のためには高精度な熱流れモデルを使ったモデルベース開発が重要です。今回は、モデル構築に必須の熱流れ計測技術と自動車の熱マネジメント開発について紹介します。

6. 「宇宙からの温室効果ガス観測に用いる衛星搭載センサ技術」 (15:55～16:35)

三菱電機株式会社 鎌倉製作所 衛星情報システム部 技術第三課 第1チーム チームリーダー 藤井 康隆 氏
わが国では、GOSAT(愛称：いぶき)シリーズの衛星によって、宇宙からの温室効果ガス観測が継続的に行われています。本講演では、現在開発中のGOSAT-GWに搭載するセンサであるTANSO-3を中心として、衛星搭載用の温室効果ガス観測センサの概要を説明します。